

Support

No. 5

平成23年12月16日

編集・発行

学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

新潟市学力実態調査の結果から

小学校、中学校ともに、国語と算数・数学が全国平均を上回りました。（特に、小学校で全国を大きく上回っています。）これは、新学習指導要領改訂の趣旨に基づいた授業改善や各校の実態に応じた工夫・改善が進んでいる成果だととらえています。指導主事が訪問した学校の中から、具体的な取組の様子を紹介します。

複合図形の面積を求める活動の中に、式と図を関連付けて考える「ねらいに迫る言語活動」（全体で、ペアで）が位置付けられていた。（秋葉区 算数）

授業者だけでなく、多くの職員が学習指導案作りに関わっていた。単元を貫く言語活動を位置付け、本時に至るまで中身の濃い学習が行われていた。（東区 国語）

「かわりあい」と「理由を明らかにする」と「伝え合うこと」の2面から「根拠をもつこと」の2面から実践しよう。を、えをさせた。と試みた。（江南区 社会）

問題解決過程が見えるように、ノートづくりを工夫すると共に、学習課題の具体化・明確化を図って子どもに体験させるため授業形態を工夫している。（中央区 理科）

教務室の脇にホワイトボードを設置し、各学級・学年にどんな宿題や課題が出るかを全職員で共有している。（南区・江南区）

詳細な授業改善計画を立て、目標を一にした取組を組織的に行おうと努めている。（西蒲区 算数）

各学校で調査結果の活用を!!

- (1) 各校の成果と課題を職員全体で共有し、授業改善に結び付けましょう。
他学年・他教科の先生も、自学級・自教科の授業と結び付けて、全校体制で調査結果を分析しましょう。
- (2) 全国学力調査自体をさらに活用しましょう。
 - ① 調査問題を読んだり、解いたりして、文部科学省及び国立教育政策研究所が求める学力を理解しましょう。
 - ② 調査問題自体を様々な場面で活用しましょう。
 - ・授業中に児童生徒とともに解き、解き方を具体的に学ばせることもできます。
 - ・朝学習や家庭学習等で問題を用いることもできます。

<来年度以降の全国学力・学習状況調査について>

平成24年度…4月17日(火)

平成25年度…4月24日(水)※4月23日(火)が「子ども読書の日」であるため、水曜日に変更。



入舟小学校に学ぶ「人権教育」

研究テーマ

人とかかわりを核に、互いに敬い合う心を育てる

～学・社・民の融合による人づくり、学校づくり、地域づくりを通して～

(教師が変わる 学校が変わる 地域が変わる 保護者が変わる 子どもが変わる)

去る11月22日(火)、500人に迫る参会者を集め、篠田新潟市長も見守る中、文部科学省指定の人権教育研究発表会が入舟小学校で開催されました。

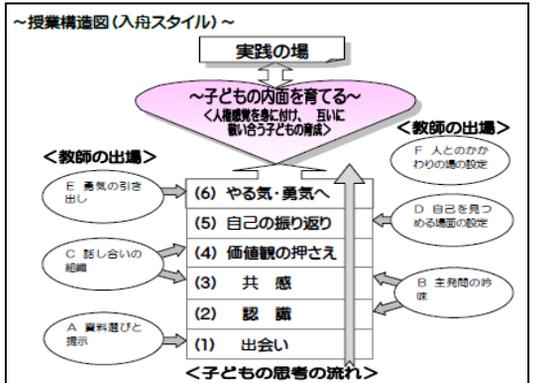
2年間にわたる取組の研究仮説は、以下のとおりです。

「より多くの人とかかわる中で、かかわりをもった人が、子どもの行動や考えを認め、ほめ、励ましていけば、子どもは自己の存在価値を見だし、自尊感情や自己有用感を高めていく。自尊感情や自己有用感を高めた子どもは、心が安定し、自分を大切にするとともに、他者の気持ちに共感したり、他者を敬ったりする心が育まれ、相手への敬意を表現するようになる。」



ここには、人権教育の基本が、健全な自尊感情の育成にあること、そして「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる子どもに育てる入舟小学校の方向性が、端的に示されています。また、他者を大切に思う気持ちを「敬う」ところまで高めていきたいという強い願いが溢れています。

入舟小学校では、実践にあたり右のような授業構造図「入舟スタイル」を考案し、研究会当日、すべての学級が授業公開を行いました。子どもの発達段階に合わせて、心に響く授業が、丁寧に展開されていました。



<授業に関する参会者の声>

- 今までの学習過程や子どもたちの思考過程も分かり、とても参考になった。よく考えている授業だと思う。
- 外部の方も入って、大きく社会、差別、人権を考えるよい機会となりました。

また、入舟小学校の取組で特筆すべきことは、地域連携が強力に進められているという点です。人権教育において実現が望まれている「地域の資源を活用した授業・教材づくり」、および、「学校・家庭・地域社会の連携・協力」の在り方を明確に示すものであり、大変、意義深いものでした。



<地域連携に関する参会者の声>

- 地域連携がしっかりされていることに驚いた。学校だけでなく、地域の方から支えられていることで、子どもは変わっていくと思った。
- 地域の方々との良質なかわりを効果的に教育課程に位置付けていた。地域連携会議、入舟井戸端会議は当校でも真似したい。地域と学校の絆を感じました。

<講演会に関する参会者の声>

- 差別の怖さ、無知の怖さを感じた。立ち向かうエネルギーを感じた。
- 自身の心に引っかかる、痛む、響くものがありました。

研究会のしめくりとなる講演会では、ヒューマンバンド「熱と光」代表・宮崎保さんの歌と語り、聴衆の心を強くつかみ、揺さぶりました。

この紙幅では紹介しきれない内容が、ぎっしり詰まった研究紀要をぜひお読みいただき、自校の人権・同和教育の推進に役立ててくださるようお願いいたします。梅津玲子校長先生のリーダーシップの下、一丸となって研究にあたられた教職員の皆さん、貴重な研修の機会を提供くださり、本当にありがとうございました。(文責 田村 篤)



平成23年11月22日(火) 入舟小学校 1年1組 授業者 新田 英子 教諭

本時のねらいは「仲間はずしはよくないことに気付き、誰とも仲良くしようとする態度を育てる」です。この授業の優れた点を大きく3点述べます。

1 日常場面から導入し、授業後半の「道徳的価値の自覚」と関連させ、家庭との連携を図って実践化に結び付けること

日常生活を振り返らせ、自分が「仲間はずし」にあったことはないか？ そのときの気持ちはどうだったか？ を丁寧に想起させ、後半で「道徳的価値を自覚」させた後、再度導入場面を振り返らせることで、「道徳的実践力」を高めようとしている点です。そして、価値を自覚した子どもの「連絡帳」に学んだことを書かせ、家庭との連携を図り、学校と家庭とが同一歩調を取れるように仕組んでいることです。



2 1年生の発達段階に合った、活動の組織

1年生の集中力を考えると、1つの活動を長引かせても効果は上がりません。新田教諭は、そのような1年生の特徴をとらえ、場面ごとに紙芝居を提示し、その都度、内容の確認と、「自分ならどうか？」などと子どもに問い掛け、授業を進めました。そして、「続きがあります。」と伝え、子どもの集中力を高めて授業展開を図りました。「続きがあります。」は魔法の言葉です。子どもにとっては、「次はどうなるのだろうか？」という期待や好奇心が高まるからです。



3 物語の「続き」を子どもに書かせることにより、「道徳的価値の自覚」を促すこと

「続きを自分で考えて書きましょう。」と指示し、登場人物に自分を重ね合わせ、「仲間はずし」をした側・された側の心情を想像させることにより、より一層「道徳的価値の自覚」を促そうとしていました。



入舟小学校では、校長先生が年度当初に「人権感覚を身に付け、互いに敬い合う子どもの育成」という方針を示し、道徳の時間を要として各教科の学習や総合学習、学級活動や学校行事、日常生活、家庭との連携を関連させ、成果を上げてきました。是非参考にしたいものです。

そこで、各学校では、新学習指導要領に沿って、次の点からチェックをお願いします。

- 1 年度当初に、校長が方針を示しているか？
- 2 各校の道徳教育推進教師は誰か？
- 3 重点目標を2つ程度に絞って明確にしているか？



(文責 杉中規彦)

幼児期の教育と

小・中学校教育の関連、接続について

幼稚園では平成21年度新幼稚園教育要領が、小学校では平成23年度、中学校では平成24年度新学習指導要領が全面実施です。各校種でもう一度何をなすべきなのか確認し、より良い実践につなげてください。



◇小学校では・・・

幼児期の教育と小学校教育の関係を「連続性・一貫性」で捉えていますか？

○互いの教育を理解し、見通す。 ※一方が他方に合わせるものではない。

幼児期と児童期の教育活動をつながりて捉えていますか？

○学びの芽生えの時期(幼児期)、自覚的な学びの時期(児童期)のつながりを見通して円滑な移行を図る。

○幼児期前半の成長を途切れさせることなく、学びの自立・生活上の自立・精神的な自立(3つの自立)を育成する。

○小学校「生活」において第1学年入学当初のカリキュラムをスタートカリキュラムとして改善する。(文科省 小学校学習指導要領解説 生活編P7)

幼小連携・接続の体制づくりができていますか？

○幼児教育と小学校教育との具体的な連携を図る。

○研修体制の確立と家庭や地域社会との連携・協力を進める。

(文科省 平成22年11月「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」)



◇中学校では・・・

新潟市教育ビジョン 基本施策5

「校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり」をしていますか？

○中学校区単位での教員同士、子ども同士の交流、授業交換、教育懇談会等の内容を充実させる。

学習指導要領で示された小学校学習内容との関連を意識した授業づくりをしていますか？

○各教科の年間指導計画づくりの際に、小学校とのつながりを意識してつくる。

幼稚園教育と関わる学習内容を落としていませんか？

○幼児と触れ合う活動など直接的な体験を通して……

……可能な限り直接的な体験ができるよう留意する。

(中学校学習指導要領解説 技術・家庭編P47・48)



◇幼稚園では・・・

園から積極的に小学校・中学校に働きかけていますか？

○幼稚園の取組を伝える努力をする。

○待ちの姿勢から連携の主体としての取組を進める。



23年度は、中之口地区の連携・接続の取組実態を中之口幼稚園が新潟県幼稚園教育研究集会で実践発表しました。
(文責 菊地 順子)